

# JRIS

## 鉄道車両ードレンボールコック

JRIS R 1603 : 2013

(JARI)

平成 25 年 11 月 11 日 制定

日本鉄道車輛工業会規格審査会 審議

(日本鉄道車輛工業会 発行)

**日本鉄道車輛工業会規格審査会 構成表**

	氏名	所属
(委員長)	手塚 和彦	株式会社テス
(委員)	潮崎 俊也	国土交通省 鉄道局
	宮本 昌幸	明星大学 名誉教授
	近藤 圭一郎	千葉大学 大学院
	古関 隆章	東京大学 大学院
	岡本 勲	公益財団法人鉄道総合技術研究所
	渡辺 清一	東日本旅客鉄道株式会社
	留岡 正男	東京地下鉄株式会社
	石塚 孝志	日本車輛製造株式会社
	和嶋 武典	株式会社日立製作所
	岡方 義則	新日鐵住金株式会社
(顧問)	明石 秀二	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	井口 雅一	東京大学 名誉教授
(事務局)	溝口 正仁	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	下村 孝	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	田中 裕輔	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

**日本鉄道車輛工業会 基準整備委員会 構成表**

	氏名	所属
(委員長)	岩滝 雅人	株式会社日立製作所
(委員)	原 克浩	川崎重工業株式会社
	平野 博嗣	日本車輛製造株式会社
	村田 和実	近畿車輛株式会社
	杉山 隆	株式会社総合車両製作所
	尾藤 千秋	新潟トランス株式会社
	安川 雅夫	三菱重工業株式会社
	島田 富美朗	株式会社日立製作所
	石井 秀明	株式会社東芝
	塩見 省吾	三菱電機株式会社
	梅澤 幸太郎	富士電機株式会社
	星 吉輝	東洋電機製造株式会社
	岡方 義則	新日鐵住金株式会社
	藤原 達雄	ナブテスコ株式会社
	石川 達哉	日本信号株式会社
	鈴木 静男	株式会社京三製作所
(鉄車工委員)	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	下村 孝	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	田中 裕輔	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	宗像 政美	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

制 定 : 一般社団法人日本鉄道車輛工業会 会長  
 掲 示 : 鉄道車両工業 ; 工業会のホームページ : URL ; <http://www.tetsushako.or.jp>  
 発 行 者 : 一般社団法人日本鉄道車輛工業会  
 (〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-2 NTT-TEL ; 03-3257-1901 NTT-FAX ; 03-3257-3200)  
 審 査 : 日本鉄道車輛工業会規格審査会  
 作成委員会 : 当工業会基準整備委員会

この規格についてのご意見又はご質問は、当工業会にお願いします。  
 なお、この規格は、原則として5年を経過する日までに確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

ページ

1	適用範囲	1
2	引用規格	1
3	用語及び定義	1
4	材料及び構造	2
5	ドレンコックの分類	2
5.1	通路径による区分	2
5.2	基本構造	3
5.3	ハンドルの操作方向による区分	3
5.4	ハンドル形状による区分	3
5.5	ハンドルの色による区分	4
5.6	環境温度条件による区分	4
5.7	区分記号	4
6	外観及び寸法	5
7	性能	8
7.1	外部漏洩	8
7.2	気密	8
7.3	作動	8
7.4	耐圧	8
7.5	耐振動	8
7.6	繰返し作動耐久	8
7.7	環境温度	8
8	試験	8
8.1	試験の分類	8
8.2	試験の項目	8
9	検査・試験の方法	9
9.1	形状検査	9
9.2	性能試験	9
10	製品の呼び方	10
11	表示	10
12	塗装	10
13	包装	10
14	取扱時の注意	10
	附属書 A (規定) ドレンコックの取扱時の注意	11
	解説	12

## まえがき

この規格は、“日本鉄道車輛工業会規格（以下、鉄車工規格という。）の制定に関する規程”の規定に則り“鉄車工規格審査会”の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。

この規格は、著作権法によって保護される著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。日本鉄道車輛工業会会長及び鉄車工規格審査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

参考 コックに関する日本鉄道車輛工業会規格

番号	規格番号	名 称
1	JRIS E 4101	鉄道車両用ドレンコック
2	JRIS E 4102	鉄道車両用アングルコック
3	JRIS E 4103	鉄道車両用縮切コック
4	JRIS E 4105	鉄道車両用三方コック
5	JRIS R 1601	鉄道車両－空気配管用縮切ボールコック
6	JRIS R 1602	鉄道車両－空気配管用三方ボールコック
7	JRIS R 1603	鉄道車両－ドレンボールコック（この規格）
8	JRIS R 1604	鉄道車両－空気配管用縮切シールコック

### JRIS “R シリーズ” 制定の背景

2002（平成 14）年まで作成・整備してきた“鉄車工標準：RIS”は、1969（昭和 44）年代の車両構造の多様化の中で、車両部品の汎用品化（共通使用）、市販品の車両部品への活用などを可能にする活動の一環として、価値分析の手法の活用及びそれぞれの分野のノウハウを取り入れながら、製品仕様、設計標準、作業標準などを標準として定めてきた。

近年、JIS は国際規格との整合化の方針に沿って性能規定化に移行しつつあるが、RIS は鉄道車両業界で必要とする事項を規格として定めているため、従来の RIS の制定方針に沿う標準と新しい JIS の考え方に沿う標準との複数で構成されている。

今後、我が国の進んだ技術をベースにした団体規格が、国内のみならず国外でも活用できるようにするために、2003（平成 15）年 1 月に鉄車工規格の作成・登録を公正にするための手順を定めた。この目的に沿うように、既存の“鉄車工標準：RIS”は、順次“鉄車工規格：JRIS の R シリーズ”への改組と必要な見直しを行って原案をまとめ、あらためて鉄車工審査会の承認を経て制定・登録する作業がスタートした。改組して新規に登録する規格の番号は、従来との関連がわかるように、前身の RIS の番号の前に零（0）を加えて四桁の番号で構成する。

なお、2003 年以降新規作成・登録する“R シリーズ”の規格は、1001 番以降でグループに区切った番号で登録する。

JRIS は、関係する技術分野に応じて五つに区分した体系で構成していて、この規格の“R シリーズ”のほかに、“D”、“E”、“J”“W” シリーズがある。

## 鉄道車両—ドレンボールコック

## Rolling stock-Drain ball cocks

## 1 適用範囲

この規格は、鉄道車両の機器に生じるドレンを大気に排出するために用いるドレンボールコック（以下、ドレンコックという。）について規定する。この規格が対象とするドレンコックの通路径は、6 mm 及び 12 mm の 2 種類とする。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改訂版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0203:1999 管用テーパねじ

JIS B 0205-1 一般用メートルねじ—第 1 部：基準山形

JIS B 0209-1 一般用メートルねじ—公差—第 1 部：原則及び基礎データ

JIS B 0251 メートルねじ用限界ゲージ

JIS B 7507 ノギス

JIS E 4001 鉄道車両—用語

JIS E 4031 鉄道車両用品—振動及び衝撃試験方法

JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管

JIS G 3459 配管用ステンレス鋼鋼管

JIS G 4303 ステンレス鋼棒

JIS G 5121 ステンレス鋼鋳鋼品

JIS H 3250 銅及び銅合金の棒

JIS H 3300 銅及び銅合金の継目無管

JIS H 5120 銅及び銅合金鋳物

JIS H 8615 工業用クロムめっき

JIS K 7137-1 プラスチック—ポリテトラフルオロエチレン（PTFE）素材—第 1 部：要求及び分類

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

JRIS R 1031 鉄道車両—薄肉炭素鋼鋼管

規格概要につき以下は省略する。